

Introduction

～ まちの人紹介 ～



紋別地区消防組合消防署
雄武支署 救急係

おがさわら とわ
小笠原 冬羽 さん



「信頼される職員を目指し、町民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに貢献できるよう、がむしゃらに頑張っていきたいです」と話すのは、消防署雄武支署救急係2年目の小笠原さん。

網走市出身で、北海道内の専門学校を卒業後、「地域に根差した暮らしがしたい」という思いから雄武町へ。消防士を目指したきっかけについては「人を助けたいという思いと、地域の方々と関わる仕事がしたいという気持ちからです。困っている人を直接支援できるだけでなく、防災活動や救急講習会などを通して地域に貢献できる仕事であり、自分に最も向いていると思いました」と話します。

現在は、救急備品の整理、消防車や資機材の点検を担当。各種訓練、消防・救急現場への出動もある中、「日頃から資機材の点検を徹底し、いつでも現場で対応できるよう準備を欠かしません。また、観察スキルや対応手順も、可能な限り復習するように心掛けています」と日々の業務に励んでいるとのこと。

今後については「現場経験を積みながら講習会にも積極的に参加し、知識や技術を高めていきたいです。また、私生活では、雄武町の豊かな自然を活かしたアウトドアに挑戦し、公私ともに充実した時間を過ごしたいです」と笑顔で話してくれました。小笠原さんの今後の活躍に注目です。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

❖編集後記

Editor's note

▼9月に入り、少しずつ秋の気配を感じるようになりました。まだ暑い日もありますが、朝夕には涼しさを感じることも増えてきました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋など、これからさまざまな楽しみが待っています。季節の変わり目でもありますので、体調に気をつけながら、秋を楽しんでいきましょう。（館田）